

宮城県

13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



ブルーカーボンシンポジウム

開催日：令和5年2月3日（金）

時間：午後2時から午後4時まで（開場 午後1時30分）

参加費：無料

場所：TKPガーデンシティPREMIUM 仙台西口

4F ホール4B（WEB併用）

（宮城県仙台市青葉区花京院 1-2-15 ソララプラザ）

対象者：一般県民，漁業関係者，行政，大学，環境NPO，
企業，マスコミ等（会場定員70名）※定員に達した場合は、WEBでのご案内となります。

ブルーカーボン：

海藻などが吸収・固定する二酸化炭素（CO₂）由来の炭素のことで、新たな地球温暖化対策として期待されています。

アクセスマップ



宮城県ブルーカーボンシンポジウムとは？

新たな地球温暖化対策として注目されるブルーカーボンについて、宮城県内での取組や社会実装の状況を知っていただくため、令和3年度から開催している質疑応答を伴う講演会です。

参加申し込み方法

本紙裏面の申込書に必要事項をご記入の上、令和5年1月31日（火）までにお申し込みください。

基調講演「ブルーカーボンクレジット制度の活用について」

ジャパンブルーエコノミー技術研究組合（JBE）理事長 桑江 朝比呂



京都大学大学院修了後、運輸省港湾技術研究所に研究官として配属、熊本大学沿岸環境科学教育研究センター客員教授兼任、港湾空港技術研究所沿岸環境研究グループ長などを経て現職は沿岸環境研究領域長、2020年よりJBE理事長兼任。

ブルーカーボンを海洋CO₂の吸収源として着目し、あらたなカーボンクレジットとしての「Jブルークレジット®」制度を創設。次世代以降も持続的に海の恵みを受けられるための技術開発を目標に掲げ、異業種連携で調査研究を推進することを目的に活動している。

事例報告「南三陸町における取組～宮城が誇る海の多様性～」

南三陸町自然環境活用センター 任期付研究員 阿部 拓三

北海道大学大学院修了後、南三陸町自然環境活用センター任期付研究員、北海道大学水産学部助教などとして海洋生物の研究・教育に携わる。東日本大震災後、流失した南三陸町自然環境活用センターの復旧に取り組むため南三陸町に戻り、2019年より現職。

志津川湾のラムサール条約湿地登録に深く関わるとともに、志津川湾でのCO₂吸収源である「藻場」の基礎データを収集し、クレジット制度の活用を目指している。

「宮城県ブルーカーボンシンポジウム」

参加申込書(メールまたはFAX)

宮城県水産林政部水産業基盤整備課

担 当：渡邊・田中

E-mail：suikiseisk@pref.miyagi.lg.jp

F A X：022-211-2949 T E L：022-211-2944

宮城県ブルーカーボンシンポジウム

- 日 時： 令和5年2月3日(金) 午後2時から午後4時まで
- 場 所： TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口 4F ホール 4B (WEB 併用)
仙台市青葉区花京院 1-2-15 ソララプラザ
- U R L： <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/suikisei/bluecarbon.html>

御職業・会社団体名： _____

御氏名： _____

参加方法：(会場, WEB) _____

御連絡先

TEL： _____

E-mail (WEB 参加の場合のみ)： _____

お申し込み締切：令和5年1月31日(火)まで

※新型コロナウイルス感染症の状況によって、会場でのご出席人数に制限を設けさせていただきます場合がございます。